

# 競技注意事項

## 1 競技規則について

競技は、2023 年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会規定により実施する。なお、競技規則 TR5.2 に適合しないシューズの使用は認めない。

パラ競技者についても競技規則の適用は同様とする。ただし、障がい特性により特別な配慮がされる場合は、2022-2023 World Para Athletics (WPA) 競技規則による。

パラ競技者についてはプログラムの名前の次に障がいクラスを表記している。

## 2 練習について

(1) 練習はサブトラックを使用すること。ただし、投てき練習は禁止する。

\* 芝生内は立ち入り禁止とする。

フィールド競技の練習は招集完了後に本競技場内で競技役員の指示により行う。

(2) サブトラックにおける「レーン」の使用区分は下記の通りとする。

ア) 周回 1～2 レーン：中・長距離、競歩

イ) 周回 3～4 レーン：短距離

ウ) 周回 5～6 レーン：300mH、400mH

エ) 直線 6～7 レーン：100mH、110mH (100mYH、110mJH) \* 8 レーンはスタート地点へ戻る際の通路

オ) 砂場助走路：短距離、100mYH、110mJH (100mH、110mH)

## 3 招集について

(1) 招集所はメインスタンド 1 階雨天練習場に設ける。

(2) 各種目の招集開始時刻・完了時刻はプログラムの競技日程欄を参照すること。

(3) 招集の手順

ア) 招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。その際、アスリートビブス、シューズの確認を受け、トラック種目は腰ナンバーを受け取る。なお、長距離種目は別ビブスも受け取ること。

イ) 代理人による点呼は認めない。ただし、2 種目以上にわたって同時刻に出場する競技者は、あらかじめ本人が競技者係へ多種目同時出場届を提出し、併せて招集に来ることが出来ない種目の点呼（アスリートビブス、腰ナンバー、シューズの確認）を受けておくこと。その場合に限り招集時刻の点呼に代理人を認める。

ウ) 招集完了時刻に遅れた競技者は出場できない。

エ) 当該種目を欠場する者はあらかじめ欠場届を競技者係に提出すること。

※多種目同時出場届、欠場届は、競技者係（招集所）備え付け、またはホームページからプリントアウトした用紙を使用すること。

(4) 混成競技

ア) 1 日目と 2 日目の第 1 種目および 2 日目の最終種目は招集所にて指定された時刻に行う。それ以外の種目では、雨天練習場の混成競技控室（雨天練習場東側）で点呼を受け、役員の誘導により競技場所に移動する。（トラック種目は競技開始の 20 分前、フィールド種目は競技開始の 30 分前までに集合すること。）

イ) 他種目と重なっている場合はあらかじめ混成競技係にその旨を告げ、競技者係に多種目同時出場届を提出しておけば、直接現地への移動を認める。また、このとき競技者はフィールド種目においては、いずれの競技種目を優先させるかを定めることができるが、トラック種目と重なる場合はトラック種目が優先となる。

## 4 競技について

(1) レーン、試技順はプログラム記載順とする。

(2) タイムによる次のラウンドに進む出場者の決定において最終枠に同記録がある時は、0.001 秒単位の実時間を判定して出場者を決定する。それでも決定できない時は抽選とする。

(3) トラック競技の予選において救済措置が生じた場合は救済競技者を次のラウンドへ進出させることとする。なお、救済競技者数によりレーンが不足する場合は次のラウンドの組数を増やす。

(4) 下記の種目はタイムレース決勝で行う。

男女 1500m、男子 3000mSC

- (5) 男女 5000m、男女 5000mW、少年B3000m はグループスタートで実施する。
- (6) 男女 5000m、10000m、5000mW、男子少年B3000m、混成競技の最終種目は別ビブスを使用する。  
レース終了後にナンバー係に返却すること。
- (7) 長距離種目および競歩種目については給水を実施する。
- (8) 下記の種目は競技運営の都合により、下記の時間を超えて次の周回に入らず競技を打ち切る。  
(女子) 10000m : 42 分    5000mW : 30 分
- (9) リレーオーダー用紙の提出について
  - ・ 提出場所：競技者係（招集所）
  - ・ 予 選：第 1 組の招集完了時刻の 2 時間前～ 1 時間前まで
  - ・ 決 勝：変更の有無にかかわらず、招集完了時刻の 1 時間前～ 30 分前まで
 ※リレーオーダー用紙は競技者係（招集所）備え付け、またはホームページからプリントアウトした用紙を使用すること。
- (10) 競技場内での練習は必ず競技役員の指示に従って行うこと。
- (11) フィールド競技は計測ラインを設ける。
- (12) 三段跳の踏切板は、砂場から男子 13m、女子 10m の地点に設置する。
- (13) 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は優勝が決まるまで次のとおりとする。  
ただし、気象状況により変更する場合がある。

走高跳	男子	練習 1m85	1m90-95-98-2m01-04-07	以後、優勝が決まるまで 3 cm ずつ上げる。
	女子	練習 1m50	1m55-60-63-66-69-72	
棒高跳	男子	練習 3m60~4m80	3m80-4m00-20-30-40	以後、優勝が決まるまで 10 cm ずつ上げる。
	女子	練習 3m00~3m80	3m20-30-40-50-60	

\* 第 1 位が同成績の場合の順位決定は、走高跳では 2 cm、棒高跳では 5 cm の幅でバーを上げ下げする。

(14) 混成競技のバーの上げ方

走高跳	男子	1m75 までは 5 cm ずつ 以後は 3 cm ずつ上げる
	女子	1m55 までは 5 cm ずつ 以後は 3 cm ずつ上げる
棒高跳	男子	3m20 までは 20 cm ずつ 以後は 10 cm ずつ上げる

## 5 競技用具について

- (1) 競技に使用する用器具は、やり、棒高跳用ポール以外はすべて主催者が用意したものを使用しなければならない。練習用としても個人のもを競技場内へ持ち込むことはできない。
- (2) やりは検査を受けて使用できる。ただし、出場競技者全員で共有できるものとする。  
検査時刻    第 1 日（8 日） 女子-9:00~9:10    男子-10:45~10:55  
\* 混成競技のやりの検査は競技開始時刻の 60 分前までとする。  
検査場所    フィニッシュ地点側器具庫
- (3) 棒高跳用ポールは跳躍審判員の点検を受け自己のポールを使用する。
- (4) 走高跳のマーカ―は競技役員から受け取ったテープのみを使用すること。
- (5) 4×100m のマーカ―は主催者が準備し競技前に各コーナーで出発係が配布する。競技終了後は必ず自チームのマークを前走者が取り除くこと。

## 6 抗議について

- (1) 競技中に起きた競技者の行為、順位に関する抗議は、正式結果発表後 30 分以内（次のラウンドが行われる場合は 15 分以内）に本人または監督から審判長にたいして口頭で申し出ること。  
なお、受付は大会本部の総務員が行う。
- (2) 審判長の裁定に不服の場合は、預託金 10,000 円を添えて文書で上告すること。抗議が却下された場合、預託金は返金しない。

## 7 表彰について

- (1) 各種目 1 位～ 3 位の入賞者は表彰を行う。
- (2) 選手権種目は、優勝者に賞状と選手権章、2 位～ 3 位の入賞者には賞状を授与する。

## 8 その他

- (1) 選手・監督・コーチ以外のサブトラックへの立ち入りは禁止する。
- (2) 競技結果および次のラウンドへの出場資格、番組編成は場内アナウンスによって発表する。また、兵庫陸協のWEBにも掲載する。(掲示板への掲示は行わない)  
なお、場内スクリーンに競技結果が確定表示された時点を正式発表とする。
- (3) 貴重品の管理は各自で責任をもって行うこと。拾得物については競技者係で保管する。
- (4) スタンド最前列に横断幕等を設置してはならない。また、のぼりは全ての場所で設置を禁止する。
- (5) 応急処置を要する場合、その他健康上の問題が生じた場合は大会本部の医務員に連絡すること。  
競技場での疾病、傷害等の応急処置は主催者で行うが以後の責任は一切負わない。
- (6) 記録証明書を希望する者は、庶務係に500円を添えて申し込むこと。
- (7) 本大会はWPA公認であることから、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。
- (8) 本大会各種目(男女10000m、少年種目を除く)の決勝において兵庫陸協登録者で上位6位まで(混成競技は4位まで)の者が近畿陸上競技選手権大会への出場資格を有する。出場資格を得た者は近畿陸上競技選手権大会の要項を了承のうえ、大会2日目17:00までに庶務係にて参加料を添えて申し込み手続きを完了すること。